

親子で楽しもう 夏の昼食を



手際よく調理ができました

今月号の特集
公民館レポート

文化
 なかの

中野市公民館報

2010 **9**
 No.66
(通巻 No.598)
 発行 中野市中央公民館
 編集 文化なかの編集委員会
 〒383-0025
 中野市三好町一丁目4番27号
 TEL 0269-22-2691
 FAX 0269-26-2342

豊田公民館 親子クッキング教室

豊田公民館は8月4日(水)、豊田保健センターで親子クッキング教室を開催し、6組の親子が参加しました。

講師の矢沢玉枝さんの指導で黒豆の青じそご飯、ビッグなフワフワオムレツ、パリパリコロコロサラダなどを、2時間半ほどかけて作りました。

参加した子どもたちは、普段から家庭でお手伝いをしているようで、手際よく下ごしらえをしていましたが、フワフワオムレツは難しかったようです。

お楽しみの昼食会では、彩り豊かな料理の前に、大きな声で「いただきます」と、美味しそうに口に運んでいました。子どもたちの姿からも、夏のすてきな思い出になったようです。

あおぞら

「暑さ寒さも彼岸まで」ということわざがあるが、もうじき秋の彼岸が来る。
 今年の夏は、昨年にもまして異常気象で7月20日頃まで集中豪雨となり、その後お盆明けになっても体温より高い温度になった場所があるなど猛暑が続いた。

我が家でもこの夏に家族で海へ行こうと思ったが、子供は映画館に行きたいと言っていたので、結局子供の意向に沿い海はやめて映画館へ家族で出向いた。着くとやたら混んでいて、上映40分前に入ったにもかかわらず、席は満席で次の上映でないと見れない状態。とりあえず次の上映のチケットを購入した。時間があるのでお昼を食べに長野の街中を家族でぶらりぶらり歩いた。さすがにこの暑い中、駅前でもないためほとんど人の姿はなく、かみさんが子供に「この建物はテレビで見るとあの建物だよ」としきりに説明している仕事に思わず暑さに負けず「立派」と感心する次第であった。さらに暑さを忘れ家族でこんなにくつくりした時間を過ごすのは久しぶりに感じた。結局駅前まで歩き昼食をとることとなった。2時近く時は刻んでいるにもかかわらず店内は混んでいて、カツ丼がやつと口の中に入ったのは40分後のことであった。良いか悪いか判断に迷うが、映画館に帰ってきたのが上映30分前と歩いて昼食を食べるだけ2時間30分。再び映画館へ入ったがやはり場内は満席で、さすがに夏休みだと感じた子供映画だと高をくくっていたが、なんのなんの、最近流行の3Dとか言う眼鏡をかけてみるもので画面から飛び出たり、遠近感がはつきりしていて、思わずとりに子供がいることなど忘れて2時間越えの映画をしっかりと見てしまった。

なんでもないありきたりの半日であったが、仕事にかこつけ春からどこへも連れて行かなかった親として、今年の夏の家族サービスは、特に熱かったような気がした。(〇)

が一杯の夏休み



夏休み親子きり絵教室の様子

中央公民館は8月2日(月)に夏休み親子きり絵教室、1、7、8日にふれあいわんぱく学校を開きました。
きり絵教室は親子、祖母と孫、友だち同士36人が参加。参加者は

中央公民館

7、8月の夏休み期間中、各公民館では子どもたちの健全育成を目的にした夏休み講座が開かれました。



「最初は難しかったけど、段々楽しくなって、とても上手にできた」



ふれあいわんぱく学校 (キャンプファイヤー)

「丁寧な指導で、初めてでもすてきな作品ができた」と楽しい体験や思い出づくりになりました。
ふれあいわんぱく学校は、旧豊田村時代から続く埼玉県坂戸市との交流事業です。今年も坂戸市か

ら子どもたち16人と保護者らが中野市を訪れ、子ども12人と一緒に、豊田地域や飯綱高原でキャンプを楽しみました。押し花を使った工作や火起こし体験、ジャ



ふれあいわんぱく学校 (火起こし体験)



ふれあいわんぱく学校 (押し花工作)

は「いろいろなことができて楽しかった」「友だちがいっぱいできた」と、有意義な時間を過ごせたようです。

参加者
ガイモ掘りやキャンプファイヤーなどを行いました。火起こし体験は苦戦しましたが、火が着いた瞬間、大きな歓声が上がっていました。

特集 公民館レポート 思い出

北部公民館



あるある探検隊（ラフティング）

北部公民館は7月31日（土）、親子体験教室「あるある探検隊」を開き、30人が千曲川でラフティングを楽しみました。

今年は隊員以外の希望者も参加し、千曲川に親しみながら、自然とのふれあいを深めました。



川原で遊ぼう

参加者は「大きな波が来たときが一番楽しかった」「川の上は涼しかった。また参加したい」と、親子で一緒に自然を満喫していました。

8月6日（金）には、夜間瀬川で「河原で遊ぼう」を開き、21人が水棲生物の観察などを行いました。

元気に川に飛び込んだり、魚を狙って仕掛けをつくったりと、身近な地域の自然の中で、元気いっぱい遊んでいました。

西部公民館



実木草講座

西部公民館では、4講座を開催し、実木草（みきくさ）講座は7月28日に23人、シャドーボックスづくり



お好み焼き講座

は29、31日に12人、絵手紙講座は7月30、8月2、4日に27人。

お好み焼きづくりは3日に18人と、大勢が参加しました。

どれも初めて挑戦する子どもたちばかりで、作品づくりに夢中になっていました。



シャドーボックス講座



絵手紙講座

シャドーボックスに参加した子どもからは、「お手本を見て『凄い』『できるかな』と思ったけど、作ってみるととても楽しかった。ハサミで切るとき、細くし過ぎて失敗しちゃったけど、楽しくできてよかったです」と話し、貴重な体験を喜んでいました。

こんにちは 分館

竹原区は、新田・荒川・上手・下の4組からなり世帯数は290戸余りです。竹原分館も他の分館同様に伝統を有し区民の中に深く根差しています。

ほぼ毎年同じ事業の繰り返しですが、分館活動を担う役員は毎年区の役員選挙で分館長・各組より支館長4人が選ばれ、それぞれ総務部兼会計、文化部、体育部、情宣部を担当します。主事は館長の指名に

竹原分館

より決まります。最近主事補というポストを設け、1年間の主事補の期間の後、主事を1年間務めるというように変えました。以前は任期2年でいきなり交代となるので大変でした。分館活動では主事が果す役割が非常に大きいので変えたのが、よい結果を生んでいると思います。各組より二名の女性が公民館婦人部として活動を支えています。

また、50年余り発行が続く分館報は、「区民新報」として年4回発行しています。各組よりの編集委員4人と共に情宣部の担当で年4回の発行を大変な仕事ですが、



粘り強く続けています。
(分館長 阿部光則)

今年度の研修旅行にて

ふるさとの歴史

江戸時代のむら人は、悪霊が病気などの災いをもたらすと信じていた。それぞれの村は、悪霊を防いだり、退散させようと疫神祭をおこなった。その例を竹原でみると、つぎのようである。

竹原村の寺子屋師匠・浦野春樹が残した日記(『晴雨略録』)に、左の記事がある。

慶応二年三月九日

村中組々にて疫神祭。休日。

慶応三年九月二八日

新田組疫神祭。鬼の御面をかぶ

つて道を歩き、家ごとに寄る。

疫神祭はおもに三月(陰暦)、年によつては九月におこなわれた。この日、若者が鬼に扮し、悪霊を家々から退散させたのである。むら人は農作業を休み、遊び日として

竹原の疫神祭

て一日を過ごした。

疫神祭は、明治以降も続行された。上手組では若者が鉦を叩きながら家を訪れ、戸口で「悪魔っばらい」と御幣を振り、新田組では鉦を叩いて家ごとに「ヤクジンサ

イ」と告げてまわった

下組は若者が家の入口で「ドツカーン」と大声を張り上げ、荒川組は「ナムアマダブツ」を唱えた。どの組でも、各家がお神酒代を差し出した。

家々をまわった後、組の境に御幣を立て、悪霊が入りこまないように祈禱。そのあと組の公会堂に集まり、お神酒代をもとでに飲食を楽しんだ。

この風習は戦後、合理的な生活習慣の風潮が強まり、医学的知識の普及もあって姿を消した。

(徳永 泰男)

40回を数えた市民登山

山を想えば人恋し

人を想えば山恋し

これは、市民登山教室の発起人、関康雄さんが好きな言葉。市民登山教室は、昭和45年に第1回を実施し今年で第40回となった。

節目の回には北海道利尻岳、大雪山旭岳、屋久島へ登り、今回は8月7日(土)・8日(日)に第1回と同じ木曾御嶽山に登った。

40年前の第1回の市民登山教室は、明治から昭和生まれの方が参加し、初日に田ノ原登山口山荘で宿泊し、翌日、山頂まで登り田ノ原へ下山した。初日の飲酒が原因で、翌日は途中下山という方の逸話もある。



山頂まであと少し



山頂での記念撮影

主に中高年の紳士淑女42名が、初日に田ノ原登山口から登り山頂部の山小屋で宿泊、翌日、黒沢口からロープウェイで下山した。今も昔も、頂上からの雄大な眺め、遠方の富士山、壮大な夕暮れにご来光、登山を通じて得られる仲間と同じと思う。

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

中央公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	絵画教室	9月29日 10月6日・13日・20日・27日 午後1時30分～3時30分 (全5回 毎回 水曜日)	中央公民館 教室(2階)	<洋画家> 坂入 進一 先生	<定員>15名 <受講料>無料 <持ち物>絵画用具一式 <申込み>9月13日(月)から
	初級英会話講座 (後期)	9月14日(火)～ 午後7時～9時 (毎週火曜日)	中央公民館 教室(2階)	中野市ALT ヨーク・ピーチャー 先生 ダレン・ナカムラ 先生	<受講料>無料 <申込み>随時
公民館ギャラリー 23 墨友会の水墨画展					
西部公民館	布ぞうり教室	9月28日(火)・30日(木) 10月1日(金)・4日(月) 午後7時～9時	西部公民館 会議室	鶴田 和子 先生	<定員>20名 <教材費>300円 <持ち物>はさみ、裁縫用具 古布(柄模様の木綿でこたつ掛 なら1枚程度) <申込み>9月6日(月)から
	実木草(みきくさ) 講座	10月7日(木)・12日(火) 午後7時～9時	西部公民館 会議室	石塚 薫 先生	<定員>20名 <教材費>300円 <持ち物>はさみ <申込み>9月6日(月)から

『なかの21市民講座』 運営委員募集

平成23年度「なかの21市民講座」の企画、運営して下さる方を募集します。

本講座は「これからをいかに生きるべきか」を足元から課題を見つけ、問い深めていくことを目標にしています。

テーマの設定、講師選任、学びの形式や方法について、ご検討していただける方を募集します。中央公民館までご連絡ください。

あなたのアイデアをお待ちしています。

問合せ

中央公民館 ☎22-2691

2010年 国際交流の集い

外国出身の方々と日本人の国際交流パーティーを開催します。それぞれの国の文化を紹介したり、歌や踊り、料理を楽しみながら、楽しいひと時を過ごしましょう。友人、ご家族などみなさんでお誘いあわせて、ぜひご参加ください。子どもたちもぜひ来てください。



申込み
不要

平成22年10月10日(日)

午後2時～4時30分

中央公民館 3階講堂

今回は参加費が必要です

詳しくは、ポスター・チラシをご覧ください。

お問合せ：中野市中央公民館 電話 0269-22-2691

運営協力：中央公民館日本語教室、中野日中友好協会

お知らせ

中央公民館では、現在、屋根の塗装工事を9月30日(木)まで行っています。工事期間中は、勤労青少年ホーム駐車場の一部が使用できなくなります。ご理解とご協力をお願いします。



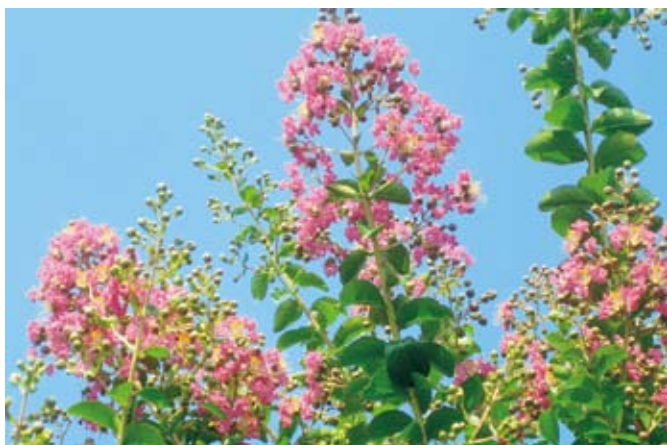
真白なソファア／市内（小林）



ホタルブクロ／谷巖寺（月岡尚雄）

花郷

はなさと
Flower Home



百日紅／市内（E）



名は体を表す極楽鳥花／市内（田中）

花と季節の写真募集

宛先

☎ 383-0025 中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館
222・2691 Eメール c-kominkan@city.nakanaganano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限り、四ツ切りまで（ワイドサイズも可）のプリント、デジタルデータ（未加工のもの）。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

季節のコラム

守るべきもの

勇気を奮い立たせ、混浴風呂へつづく引き戸を開いた。三年越しに実現した東北の山旅。

たっぷりかいた汗を流そうと、浴室に足を踏み入れた。歴史を感じさせる大きな建物の中は、泳ぐことさえできそうな浴槽が三つ。

何かが変だ。湯気の中に目を凝らすと、浴槽の真ん中を丈夫な衝立と「男はこれ以上入ってはならぬ」のロープが。

最近、入浴客のマナーが悪いための措置だとか。

銭湯や温泉で、混浴は明治の初めごろまであたりまえだった。

銭湯では、大量の薪や水を確保することがむずかしかったからとも。

また、混浴が淫らだとする感覚は当時の日本人にはなかったとか。混浴をわざわざ見に行く西洋人こそが淫らな感覚があったとか。

受け継いできた伝統や文化は、国や民族によってまちまちだ。幼児に対する育児放棄や虐待など、悲しいニュースがテレビや新聞で毎日報じられる。

もし、近くにお節介なおばあさんやお爺さんがいてくれたなら、悲劇は起きなかつたかもしれない。

とてもやり切れない思いに打ちひしがれる。私たちにも時代がどう変わろうと、守るべき文化や伝統がある。